



第10回 地域創造のための 観光マネジメント講座

《理論と実践を学ぶ場》

受講生募集！

主催：NPO法人観光力推進ネットワーク・関西
特別協力：日本観光研究学会関西支部

対象

地域づくりのための観光関連プロジェクトに従事するすべての人びと
観光関連行政担当者、観光関連業界従事者、NPO等のまちづくりグループなど



趣旨と概要

●地域創造のための観光マネジメントとは何か？

「地域づくりのための観光」に関する統一的な理念(考え方)と段階的な方法(使い方)です。



このような観光マネジメントによって運営される観光を本講座では「地域創造型観光」とよびます。それは、地域主体の持続的な観光開発プロジェクトともいえます。

●地域創造のために、なぜ観光マネジメントが必要か？

地域創造型観光では、住民や行政などの様々な地域セクターの参画とプロジェクトの運営を段階的、組織的に進めねばなりません。



それにはプロジェクトのスタートからゴールまで、人と組織、資源と資金を扱う方法、すなわちマネジメントの技術が必要です。

●「地域創造のための観光マネジメント講座」の特色は？

実践的
講座

「地域創造のための観光マネジメント」について実践的な「考え方」と「使い方」を講義と演習(ワークショップ)によって体験的に修得できます。



ゼロから始める
講座

「地域創造のための観光マネジメント」について全く知識や経験のない人が取り組める段階方式の講座なので、関連分野を初めて担当する行政職の方から地域づくりに興味と意欲のある一般住民までが受講しやすい講座です。



すぐに使える
講座

一般論や概論ではなく、できるだけ具体的な問題提起と問題解決を行います。また、講座修了後に「地域創造型観光計画書」を作成し、その添削・評価を受けられます。学んだことがそのまま仕事や生活の場で使えるように工夫しています。

日程 2016年1月9日(土)・23日(土)・30日(土)・2月6日(土)

定員 30名 ※会場収容人数の都合上、定員オーバーの場合はお断りすることがあります

第10回「地域創造のための観光マネジメント講座」

日程・担当講師・テーマ・講座概要

※日程変更が生じる場合があります。予めご了承ください。

開催日時	担当講師	テーマ	講座概要
ステップ1		地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法	
第1回 1月9日(土) 10:00～11:30	阪南大学 教授 吉兼 秀夫	地域資源活用の第1歩： 「エコミュージアム」の方法	観光における「図と地」の概念を検討した上で、地域全体を博物館と考えるエコミュージアムに基づく地域資源の発見と活用方法を修得します。
第2回 1月9日(土) 11:40～13:10	神戸山手大学 准教授 原 一樹	観光と情報・メディア	観光者や観光地にとって情報・メディアが持つ意味と機能について、理論的観点や現代的事例(コンテンツツーリズム等)を通して理解を深めていただきます。
第3回 1月9日(土) 14:00～15:30	北海道大学観光学高等研究センター 特任教授 真板 昭夫	持続可能な観光運営の方法	ワークショップ1でのプレゼンテーションを目標にして地域創造型観光のための計画策定の考え方と方法を修得します。
第4回 1月9日(土) 15:40～17:10	阪南大学 教授 吉兼 秀夫	ワークショップ1：「宝探し」(地域資源の再発見と再評価)の机上演習	
ステップ2		地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法	
第5回 1月23日(土) 10:00～11:30	神戸国際大学 教授 桑田 政美	プロモーションとイベントの 活用方法	プロモーションを効果的に実践するための「集客のための仕組みづくりとファンづくりの仕掛け」を、イベントの企画から実施・運営までの業務の理解を通じて修得します。
第6回 1月23日(土) 11:40～13:10	神戸山手大学 教授 森山 正	マーケティング/ 顧客満足と従業員満足	集客力を高めるため「顧客」の視点は重要です。マーケティングの基本要素、戦略づくりのポイントなどを通して顧客満足のマーケティングを修得します。
第7回 1月23日(土) 14:00～15:30	立命館大学 客員教授 金井 萬造	制度の活動と資金の調達	観光振興事業に活用できる制度の活用と工夫について、実際の施策を例にとり修得するとともに各種の活用資金について学び、調達方法について修得します。
第8回 1月23日(土) 15:40～17:10	阪南大学 教授 清水 苗穂子	ワークショップ2： 地域創造型観光のマーケティング演習	
ステップ3		地域創造型観光の運営：事業継続の方法	
第9回 1月30日(土) 10:00～11:30	摂南大学 准教授 野村 佳子	高品質なサービスを提供する ためには	観光客に満足してもらうためには、目に見えないサービスの性質を知り、的確な提供を行う必要があります。サービスの特徴とマネジメントの仕組みについて学び、よりよいサービスを提供するためには何が重要なのかについて理解を深めていただきます。
第10回 1月30日(土) 11:40～13:10	地域計画建築研究所 主幹 小阪 昌裕	観光マネジメントと まちづくり	地域創造のためには、地域内と地域外との両面の力が大切であり、その場合「観光とまちづくり」の視点から地域の経営や管理の方法について修得します。
第11回 1月30日(土) 14:00～15:30	地域計画建築研究所 チーム長 高田 剛司	着地型観光の担い手	発地から着地へと移りつつある観光ビジネスの主体をめぐり、地域資源をコミュニティのレベルから掘り起こして商品化し、販売をダイレクトに行う着地型観光をその方法論から探ります。
第12回 1月30日(土) 15:40～17:10	大阪市立大学大学院 教授 小長谷 一之	地域創造型観光のマネジメント	これまでの講義を踏まえて、「地域創造のための観光マネジメント」の考え方と方法のまとめと、最終回のプロジェクト計画書プレゼンの概要を説明します。
第13回 2月6日(土) 13:00～17:30	講師全員	ワークショップ3： 受講者による地域創造型観光 のプレゼンテーション	前回は終了後、受講者は地域創造型観光のプロジェクト計画書を作成し、受講者全員でミニ・プレゼンテーションします。

講師プロフィール(※登壇順)

講師名	プロフィール
吉兼秀夫	阪南大学国際観光学部 教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 理事 日本観光研究学会 副会長、関西支部長 観光における「図と地」論をベースに地域資源をまるごと活かしたエコミュージアム手法による観光まちづくりに取り組む。奈良県明日香村に居住し、見えない資源のビジュアル化による楽しい観光振興を地域住民、学生、諸団体、行政と取り組む。近畿運輸局観光アドバイザー会議座長、自治体の観光計画委員などに多数の事業に携わる。
原一樹	神戸山手大学現代社会学部観光文化学科 准教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 理事(学連協担当) 日本観光研究学会 関西支部幹事 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程(哲学)単位取得満期退学。埼玉大学・神戸大学非常勤講師、神戸夙川学院大准教授等を経て現職。フランス哲学や社会学理論の研究をベースに、広く観光学の理論研究・観光教育・観光調査に携わっている。
真板昭夫	北海道大学観光学高等研究センター 特任教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 会員 日本観光研究学会 会員 大蔵省、通産省共管のシンクタンク政策科学研究所にて環境政策論研究に参加、その後環境省認可の生物系シンクタンク設立に参加し、自然、野生生物の保護管理研究にかかわり、1990年よりエコツーリズムの研究と運動を立ち上げる。西表島、南大東島、二戸市を始め、フィジー、ガラパゴスのエコツーリズムの推進に継続的に20年以上に渡り関わりを続けている。日本ガラパゴスの会副会長、日本エコツーリズム協会理事。
桑田政美	神戸国際大学経済学部 教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 理事長 日本観光研究学会 評議員 大手旅行会社にて国内企画商品開発・宣伝担当、大型地域キャンペーン計画・実施、世界リゾート博等各種大型イベント、企業周年事業等のプロデュース、京都市観光振興基本計画策定等自治体の観光活性化・コンベンション振興事業等多数に携わる。
森山正	神戸山手大学現代社会学部 教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 副理事長 日本観光研究学会 会員(元理事) ホテル、テーマパーク事業会社でマーケティング部門および人事部門を所管。兵庫県商工会連合会事業審査委員、大阪府魅力満喫券消費喚起事業委員長、JICA[Human Resource Capacity Development]プロジェクトリーダー等を歴任。
金井萬造	立命館大学経済学部客員 教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 理事 日本観光研究学会 評議員 まちづくり・都市計画・産業振興等のコンサルタントで観光振興・地域振興の計画に携わり、事業・組織・人材育成の取組みに関わってきた。9年前から立命館大学経済学部で観光経済学等の授業を担当している。
清水苗穂子	阪南大学国際観光学部 教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 事務局長 日本観光研究学会 理事 近畿日本ツーリスト(株)、アメリカン・エキスプレス・インターナショナルインク日本支社にてトラベルカウンセラー、販促、商品企画業務に携わる。現在大学にて、地域が中心となるエコツーリズム、コミュニティ・ベースド・ツーリズムのマネジメントの研究を行う傍ら、神戸市都市景観審議会委員、大阪市歴史的・文化的町並み創出事業委員、JICA観光人材育成研修コーディネーター等の業務に関わる。
野村佳子	摂南大学経済学部 准教授 日本観光研究学会 会員 大手航空会社で、旅客サービス、営業、総務、広報、ホテル業務の他、世界の子どもたちを対象とした国際交流イベントを担当。大阪のほか、東京、パリ、ニューヨークでの勤務経験がある。2010年より現職。
小阪昌裕	(株)地域計画建築研究所(アルパック) 主幹 NPO観光力推進ネットワーク・関西 監事 日本観光研究学会 関西支部幹事 プランニングコンサルタント会社で公共マネジメント等を担当、主に近畿圏遠郊地域の広域圏計画、市町村総合計画、平成の市町村合併時の建設計画、地方創生の地方版総合戦略、地域振興計画・観光計画・C I計画等多数に携わる。
高田剛司	(株)地域計画建築研究所(アルパック) チーム長 追手門学院大学 客員研究員 日本観光研究学会 会員 まちづくりコンサルタントとして、各地のまちづくりや地域振興、観光振興に従事。日本観光研究学会理事(2010年~2013年)、一般社団法人日本計画行政学会関西支部幹事(現在)。共著に「これでわかる!着地型観光」(学芸出版社)、「地域のチカラ」(自治体研究社)。技術士(建設部門:都市及び地方計画)。
小長谷一之	大阪市立大学大学院 教授 NPO観光力推進ネットワーク・関西 理事 日本観光研究学会 理事 経産省、環境省、国土交通省、都市基盤整備公団・UR都市機構、京都府、大阪府、大阪市、同北・天王寺・港各区役所、堺市、豊中市、高槻市、八尾市、箕面市、尼崎市等で各種委員を歴任。大阪商工会議所都市再生委員。飛鳥ニューツーリズム協議会顧問。(財)大阪市北区商業活性化協会理事。(社)港まちづくり協議会大阪顧問・評議員。

受講費用

1万円(全13回分一括) ※資料代として

会場

阪南大学あべのハルカスキャンパス

〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43

あべのハルカス23階 阪南大学あべのハルカスキャンパス

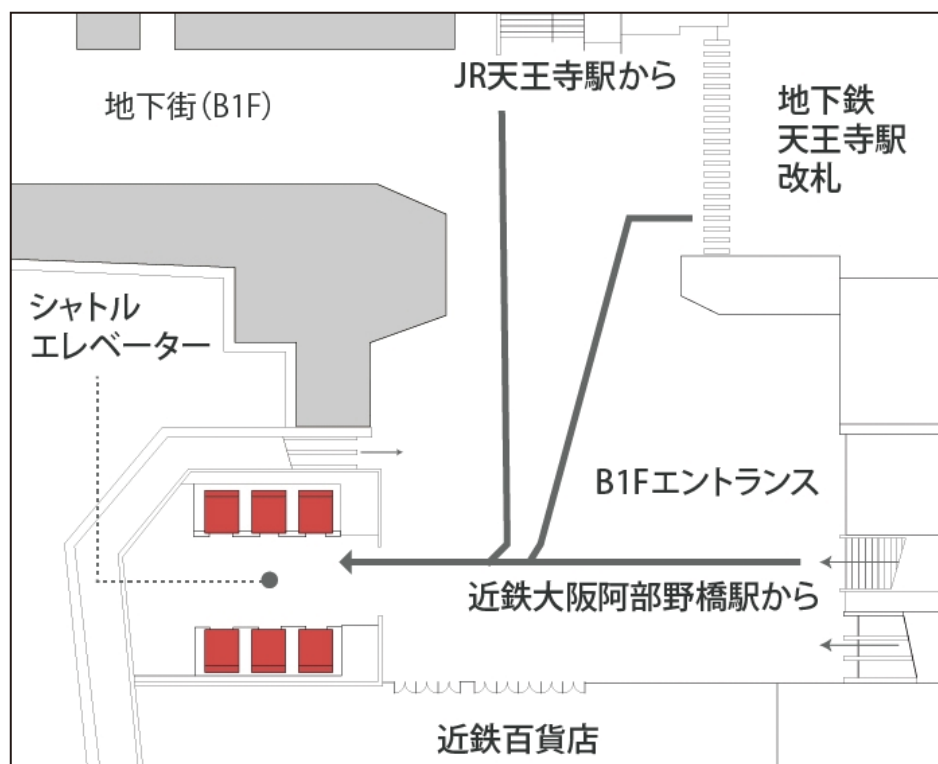
TEL:06-6654-5570

FAX:06-6654-5580

アクセス

こちらをご参照ください

<http://www.hannan-u.ac.jp/harukasu/mrrf43000000vvgw.html>

**申し込み・問合せ先**

氏名、勤務先、連絡先(電話番号及びメールアドレス)を記入の上、下記へお申し込みください。

〒580-0033 大阪府松原市天美南1-108-1

阪南大学国際観光学部 清水研究室内

NPO法人 観光力推進ネットワーク・関西 事務局

TEL(大学代表):072-332-1224

FAX(大学事務室):072-330-5283

E-mail:npo@kankoryoku.jp